

資料 36

横田基地へのCV-22 オスプレイの配備について（要請）

平成30年4月3日、在日米軍は、横田基地へのCV-22 オスプレイの配備に関し、2020会計年度としていた予定を1年以上前倒しし、今年の夏頃に配備すると発表した。

さらに4月5日から13日にかけて、CV-22 オスプレイ 5機が横田基地に一時的に立ち寄り、5月29日には、同5機が事前の通告なく飛来した。

オスプレイについては、平成28年12月の沖縄県におけるMV-22 オスプレイの不時着水をはじめ、国内外での事故や緊急着陸などが続き、安全性への懸念がぬぐえない状況にあり、さらに、今回の突然の配備前倒しの発表や度重なる飛来により、基地周辺住民の不安が広がっている。

このため、配備に先立ち、基地周辺住民や地元自治体へ迅速かつ正確な情報提供がなされる必要があることから、本協議会は4月27日に国に対し、CV-22 オスプレイの横田基地配備に関する具体的な情報を早期に提供するよう要請し、今般、国から一定の情報提供を受けたところである。

については、配備予定時期が間近に迫っていることを踏まえ、基地周辺住民の安全と生活環境を守るため、下記のとおり要請する。

記

CV-22 オスプレイの配備及び運用に当たっては、これまでの横田基地の騒音軽減措置やMV-22 オスプレイの運用に関する日米合同委員会での合意事項（※1）を遵守するとともに、以下の1～3の事項についても対応すること。

1 CV-22 オスプレイの配備について

- (1) 今後の配備スケジュールを早期に明らかにすること。
- (2) 施設の整備について、工事の内容及びスケジュールを早期に明らかにすること。
- (3) 乗組員及び整備要員は、必要な資格及び十分な技術、経験を有する者を配置すること。
- (4) 新たに配属となる軍人、軍属等の赴任スケジュールを明らかにするとともに、配属に当たっては、教育訓練と規律の保持を徹底すること。

2 CV-22 オスプレイの運用について

- (1) 基地及び周辺上空の飛行経路（進入・出発経路及び場周経路）は、既存の飛行経路を使用すること。また、転換モード（※2）での飛行は基地上空でのみ行うこと。
- (2) 離着陸時を除き、地上から500フィート以上の高度で飛行すること。
- (3) 22時から翌6時までの間及び土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する祝日、盆、年末年始、入学試験時期等の特別な日にCV-22 オスプレイを使用した訓練等を行

わないこと。

- (4) CV-22 オスプレイを使用した訓練の実施に当たっては、事前に情報提供を行うこと。
- (5) CV-22 オスプレイ配備後の基地全体の離発着回数は、基地周辺住民への影響を踏まえ、できるだけ増加させないこと。

3 その他

- (1) CV-22 オスプレイの配備計画や運用の変更等を行う場合は、事前に情報提供を行うこと。
- (2) CV-22 オスプレイの配備及び運用に伴う基地周辺住民の不安を取り除くため、安全対策や騒音の軽減等を含め、必要な取組みを行うこと。

平成30年6月4日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官
ケネス E. モス 大佐 殿

防衛大臣 小野寺 五典 殿

外務大臣 河野 太郎 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会 長	東京都知事	小 池	百合子
副会長	福 生 市長	加 藤	育 男
	立 川 市長	清 水	庄 平
	昭 島 市長	白 井	伸 介
	武蔵村山市長	藤 野	勝
	羽 村 市長	並 木	心
	瑞 穂 町 長	杉 浦	裕 之

(※1)

- ① 昭和39年4月 横田飛行場の騒音規制措置
- ② 平成5年11月 横田飛行場の騒音規制措置(改正)
- ③ 平成24年9月 日本国における新たな航空機(MV-22)に関する合意

(※2)

回転翼から固定翼(または、その逆)へ転換する間の飛行モード

資料 37

CV-22 オスプレイの横田飛行場への配備日程公表に関する
「横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会」コメント

- 本日、国は、在日米軍が5機のCV-22 オスプレイを本年10月1日に横田飛行場へ配備することを公表しました。
- 「横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会」では、本年4月3日の配備計画の発表以降、国や米軍に対し、安全対策の徹底や生活環境への配慮等を求めるとともに、配備に当たっては、夜間等の飛行訓練を行わないことなどを要請してきました。
- この間、CV-22 オスプレイは複数回にわたって横田飛行場に飛来し、特に6月23日以降については、現在に至るまで長期間留まり、地元への事前の情報提供も十分でないまま、飛行場周辺で飛行を繰り返しています。
- このような状況の中、配備日程が発表されたことを踏まえ、本日、国と米軍に対し、本協議会がこれまでに行ってきた配備・運用に関する要請内容を改めて確認し、真摯に対応するよう口頭要請しました。
- 併せて、現在、一時的に立ち寄りしているCV-22 オスプレイについて、横田飛行場周辺における飛行を最小限にすること及び飛行に当たっては事前の情報提供、安全対策や騒音等生活環境への配慮を行うことを要請しました。
- 本協議会では、10月1日のCV-22 オスプレイの配備に向け、引き続き、国や米軍に対して必要な働きかけを行っていきます。

平成30年8月22日

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会 長	東京都知事	小 池	百 合	子
副会長	福 生 市 長	加 藤	育 男	
	立 川 市 長	清 水	庄 平	
	昭 島 市 長	臼 井	伸 介	
	武蔵村山市長	藤 野	勝	
	羽 村 市 長	並 木	心	
	瑞 穂 町 長	杉 浦	裕 之	

CV-22オスプレイの横田飛行場への配備について

平成30年9月19日
北関東防衛局

CV-22の配備について

【スケジュール】

- 米側からは、5機のCV-22を本年10月1日に配備し、残り5機については、具体的な配備の計画は未定ですが、2024年頃までに10機の配備を行う予定、6機目以降の配備情報については、適切に提供したい旨の説明を受けています。
- 今後、米側からさらに詳細な情報が得られた場合には、御説明する考えです。

【人員体制】

- 米側は、2024年頃までに段階的に計10機のCV-22と約450人の人員を横田飛行場へ配備するとしており、具体的な時期については、その時の状況によって調整が必要となるため、日本政府と緊密に連携していきたいと説明しています。
- いずれにせよ、詳細については引き続き米側に確認し、米側から情報が得られれば、適切に地元の皆様に御説明したいと考えています。

【施設整備】

- 横田飛行場における施設整備については、米側から既存の施設の改修等を中心とする第1段階の整備は、2017(平成29)年9月までに完了している旨説明を受けています。
- また、2016米会計年度から2020米会計年度までの間で実施する予定の第2段階の施設整備については、2018(平成30)年10月から2021(平成33)年9月までの間に完了するとの説明を受けており、今後、米側からさらに詳細な情報が得られた場合には、御説明する考えです。

【乗組員及び整備要員】

- 米側は、以下の内容を含むMV-22に関する日米合同委員会合意(2012(平成24)年9月)を遵守する旨明言しています。
 - ・ 乗組員は、熟練しており、必要な資格を有する者で構成するとともに、練度維持等のため日本での訓練を継続
 - ・ 日本に着任する全ての乗組員は、日本での飛行を行う前に、運用上の所要(「飛行場規則」)及びその他の固有の特性(例えば、地形や気候等)を熟知する
 - ・ 整備要員は基準に従って徹底して訓練され、また最新の整備に関する情報や整備方法を取り入れる

CV-22の運用について

【日米合同委員会合意の遵守】

- 米側は、CV-22の日本国内における飛行運用に際しては、地元の皆様に十分に配慮し、最大限の安全対策を採るとしており、MV-22に関する日米合同委員会合意(2012(平成24)年9月)の内容を含め、既存の全ての日米間の合意を遵守する旨、明言しています。
- また、本年8月22日の配備時期の公表に伴い、北関東防衛局長から第5空軍副司令官及び第374空輸航空団司令官に対して、日米合同委員会合意の遵守等について申入れを行ったところです。

【情報提供】

- 配備後におけるCV-22の訓練の実施に当たっては、米側から訓練情報などが得られた場合など、速やかに御説明する考えです。

その他

【騒音等への対応】

- 米側に対し、従来から、日米合同委員会で合意している騒音規制措置の遵守や、休日や地元の重要な行事に配慮するよう申し入れを行うとともに、住宅の防音工事を実施することにより環境基準が達成された場合と同等の屋内環境を保持するなどの措置を講じているところです。
- 防衛省としては、米側に対し、引き続き、安全面に最大限の配慮を求めるとともに、地元の皆様に与える影響を最小限にとどめるよう求めていくなど適切に対応していく考えです。

【飛行運用に関する取り組み】

- 本年4月20日に米本国で開催された日米防衛相会談においては、小野寺大臣から、本年横田飛行場に配備されるCV-22や沖縄の米軍機も含め、引き続き米軍の安全な運用の確保を要請し、マティス長官から、安全な運用の確保は重要である旨の認識が示され、地元の理解を得る取組について協力していくことで一致したところです。
- その後も、本年5月29日にハワイ、及び6月29日に日本で開催された日米防衛相会談において、小野寺大臣からマティス国防長官に対し、米軍の安全な運用の確保に向けた協力を繰り返し要請しています。

資料 39

横田基地へのCV-22オスプレイの配備について（要請）

本年10月1日に5機のCV-22オスプレイが横田基地に正式配備される。

本協議会では、4月3日の配備計画発表以降、国や在日米軍に対し、迅速かつ正確な情報提供を行うなど、十分な説明責任を果たすことや、配備に当たっては、夜間等の飛行訓練を行わないことなどを複数回に渡って要請してきた。

しかしながら、配備前にも関わらず、5機のCV-22オスプレイが横田基地に長期間留まり、事前の情報提供もなく飛行を繰り返すなど、基地周辺住民のCV-22オスプレイに対する不安は解消されたとはいえない状況にある。

については、10月1日の正式配備を間近に控え、これまでの本協議会の要請や既存の日米合同委員会合意を遵守することはもとより、以下のことについて改めて要請する。

記

- 1 配備後も、CV-22オスプレイの訓練等の情報や機体の安全性に関する情報について、迅速かつ正確に情報提供すること。
- 2 安全対策を徹底するとともに、騒音など基地周辺住民の生活環境への影響を最小限にとどめること。また、運用に関する地元自治体からの要請等に対して真摯に対応すること。
- 3 上記を在日米軍に対し強く働き掛けるとともに、配備に伴う基地周辺地域の負担増加に対する軽減策を講ずること。

平成30年9月25日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官 オーティス C. ジョーンズ大佐 殿

防衛大臣 小野寺 五典 殿

外務大臣 河野 太郎 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会 長	東京都知事	小 池	百 合 子
副会長	福 生 市 長	加 藤	育 男
	立 川 市 長	清 水	庄 平
	昭 島 市 長	白 井	伸 介
	武蔵村山市長	藤 野	勝
	羽 村 市 長	並 木	心
	瑞 穂 町 長	杉 浦	裕 之

資料40

(お知らせ)

3. 7. 20
北関東防衛局

CV-22オスプレイの横田飛行場配備について

CV-22については、平成30(2018)年に既に説明しているとおり、2024年頃までに段階的に計10機のCV-22を横田飛行場に配備する計画となっており、2018年10月から5機のCV-22が配備されています。今般、米側より、この計画に基づいて、既に配備されている部隊に追加されるものとして、CV-22が1機、2021年7月6日、横田飛行場に到着したとの説明がありましたので、お知らせいたします。

資料 41 CV-22 オスプレイの横田飛行場配備について（要請）

令和3年7月20日、既に配備されている部隊に追加されるものとしてCV-22 オスプレイ1機が2021年7月6日に、横田飛行場に到着したとの説明が米側よりあった、と国が公表した。

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会は、CV-22 オスプレイに関して、かねてから、今後のスケジュール等の配備計画について迅速かつ正確な情報提供を求めてきたが、これらは未だに示されていない。加えて、6機目以降の配備情報については適切に提供するとしていたにもかかわらず、今回の追加配備について事前の情報提供がなされなかったことは、基地周辺住民の米軍に対する不信感につながりかねず、遺憾である。

については、基地周辺住民の平穏で安全な生活を守る観点から、下記のとおり要請する。

記

- 1 今回の6機目の配備に当たり、事前に情報提供がなされなかった理由及び正式な配備日を明らかにすること。
- 2 今後の7機目以降の配備計画等について、迅速かつ正確な情報提供を行うことを改めて強く求めるとともに、実際の配備に当たっては、必ず、事前に地元自治体に情報を提供すること。
- 3 CV-22 オスプレイの運用に伴い既に配属されている人員数について、情報提供すること。また、今回の配備により新たに人員が配属される場合には、その人員数を明らかにするとともに、それらの人員に対する教育訓練と規律の保持を徹底すること。
- 4 追加配備に伴う施設整備についても、その進捗等を迅速かつ正確に情報提供すること。
- 5 配備機数の増に伴い、これまで以上に安全対策を徹底するとともに、今回の配備によっても、CV-22 オスプレイの離着陸回数を、極力増加させないなど、騒音等基地周辺住民の生活環境への影響を最小限にとどめること。また、運用に関する地元自治体からの要請等に対して真摯に対応すること。
- 6 以上の内容について、米軍に対し強く働きかけるとともに、配備に伴う基地周辺地域の負担増加に対する軽減策を講ずること。

※ 6は国に対してのみ要請

令和3年7月21日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官 アンドリュー J. キャンベル大佐殿
防衛大臣 岸信夫 殿 外務大臣 茂木敏充 殿
北関東防衛局長 扇谷 治 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会 長	東京都知事	小 池	百合子
副会長	武蔵村山市長	山 崎	泰 大
	立 川 市 長	清 水	庄 平
	昭 島 市 長	白 井	伸 介
	福 生 市 長	加 藤	育 男
	羽 村 市 長	橋 本	弘 山
	瑞 穂 町 長	杉 浦	裕 之